



令和2年度コロコニトーキングを開催しました

令和2年12月16日(水)に、手形地区において、「理想的なワークライフバランスの実現に向けて」をテーマに令和2年度コロコニトーキングを開催しました。

近藤理事の開会の挨拶に続き、小柳人事課長が年始の有給休暇取得の推奨期間についてなど話題提供を行った後、フリートーキングを行いました。

話題提供で紹介された「有給休暇取得推奨期間」は初の試みであり、フリートーキングでは実施時期や、そのあり方についてなど意見が交わされました。

終了後のアンケートでは、「職種を越えて意見交換ができ、有意義だった。」「トーキングという名前の通り話しやすかった。」といった感想が寄せられました。



近藤理事



小柳人事課長



山名室長

子の看護休暇の適用範囲が 拡大されました

「子の看護休暇」とは、お子さんが病気で登園・登校できないときや予防接種の時などに取得できる休暇制度で、年に10日間付与されております。



この度その適用範囲が下記のとおり拡大されました。

- 旧) 「中学校就学前までの子」
- 新) 「**中学校第3学年修了までの子**」



コンシェルジュ・デスク カウンセラー相談を実施中

何かお悩みを抱えていらっしゃいませんか？業務や日常生活での不安や悩み等を専門のカウンセラーに無料で相談することができます。本学の教職員であれば、どなたでもご利用いただけます。相談は予約制となっておりますので、希望される方は、当推進室コンシェルジュ・デスクまでご連絡ください。

【相談日時】 毎月 第1・第3月曜日
15:00~16:00

【相談予約】 男女共同参画推進室
コンシェルジュ・デスク
☎018-889-3183
coloconi@jimu.akita-u.ac.jp
コロコニホームページからも
ご予約いただけます。



「令和2年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」表彰式を行いました

令和2年11月26日(木)13:15より秋田大学において、「令和2年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」表彰式を執り行いました。

この賞は、本コンソーシアムを構成する各機関の女性研究者の研究活動に対するモチベーションを高めることを目的に、優れた成果や取組を顕彰する制度として、平成26年度に創設されました。

選考の結果、今年度は若手研究者学術研究部門に3名、若手研究者地域貢献部門に2名、ワークライフバランス部門に2名が表彰されました。



【前列左より】秋田大学 前田氏／同 赤嶺氏／山本秋田大学長／秋田大学 能登氏／秋田県立大学 大塚氏 【後列左より】近藤秋田大学理事／小林秋田県立大学長／秋田大学 ヨン氏／秋田県総合食品研究センター 戸松氏／秋田大学 野口氏／佐藤秋田県産業技術センター所長

表彰式では、本コンソーシアム会長の山本秋田大学長から、「この表彰により、受賞者が今後益々活躍すること、そして、受賞者をロールモデルとして、次世代を担う女子中高生や大学生が研究者を目指し、『女性研究者支援コンソーシアムあきた』参画機関の更なる発展に寄与することを期待する」と挨拶があり、被表彰者一人ひとりに表彰状と副賞が授与され、引き続き受賞記念講演が行われました。

受賞者のご紹介

● 若手研究者学術研究部門

● 若手研究者地域貢献部門

● ワーク・ライフ・バランス部門



秋田大学医学部附属病院
講師 **赤嶺 由美子 氏**

患者血液中マーカーを用いた
精神科領域の個別化薬物療法の
確立



秋田県立大学システム科学技術学部
助教 **大塚 亜希子 氏**

既存建築に適用可能な超音波伝播
速度測定による定量的な劣化診断
方法に関する基礎的研究



秋田県総合食品研究センター
主任研究員 **戸松 さやか 氏**

秋田県のテロワールを生かした
ヤマブドウワインの開発 他



秋田大学大学院医学系研究科
助教 **前田 深春 氏**

細胞分裂期における分泌制御
メカニズムの解析



秋田大学医学部附属病院
助教 **能登 舞 氏**

マウス毛包発生におけるSox
ファミリー転写因子の時空間的
な発現および機能の解析



秋田大学大学院医学系研究科
助教
ヨン キム フォン ロザリン 氏

若者のひきこもりの予防と介入対策



秋田大学医学部附属病院
医員 **野口 奈津子 氏**

創傷治癒におけるaPKC分子種の
機能的差異の解析

